

衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する 特別委員会ニュース

H22.3.15 第174回国会第2号

3月15日（月）第2回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・中井国務大臣（拉致問題担当）から発言がありました。
- ・岡田外務大臣、中井国務大臣（拉致問題担当）、大塚内閣府副大臣及び武正外務副大臣に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

長尾 敬君（民主）

- ・拉致問題の全面解決なくして日朝国交正常化はありえないとする考え方について、中井国務大臣の認識を伺いたい。
- ・北朝鮮有事の際に拉致被害者を安全に救出する計画の必要性について、中井国務大臣に伺いたい。

中島 隆利君（社民）

- ・六者会合再開に向けて活発化している関係各国の動きについて、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・拉致、核、ミサイル問題の解決のための方策について、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

古屋 圭司君（自民）

- ・六者会合が再開されても、拉致問題の進展なしには重油支援などの対北朝鮮支援に参加しないとする政府方針を堅持する必要性について、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

竹内 譲君（公明）

- ・日朝交渉における主導権は政府と党のどちらにあるのか、北朝鮮は拉致問題を早期に解決したいと思っているのか、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

笠井 亮君（共産）

- ・高校の実質無償化の対象から朝鮮学校を除外することによって外交上、人権上の問題が生ずる懸念について、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

（ここまで外務大臣出席）

古屋 圭司君（自民）

- ・高校の実質無償化の朝鮮学校への適用の是非について、中井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・現在の政府パンフレット『すべての拉致被害者の帰国を目指して』には従来あった3つの基本方針が記載されていないなど政府が全力で拉致問題へ取り組んでいるとは思えないが、政府は拉致問題を最重要課題として取り組んでいるのか。

竹内 譲君（公明）

- ・今国会に提出されている北朝鮮貨物の検査に関する2法案のうち、北朝鮮への圧力という観点からは、自衛隊の役割を明記している野党案の方が妥当でないか考えるが、この点について中井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・金賢姫元死刑囚の日本招致の目的及び実現可能性について伺いたい。

笠井 亮君（共産）

- ・高校の実質無償化の対象からの朝鮮学校の除外と拉致問題を結び付ける発言が人権侵害を助長することにならないか。

熊田 篤嗣君（民主）

- ・拉致問題の解決に向けたロードマップについて、中井国務大臣に伺いたい。
- ・北朝鮮に対し拉致問題に関する損害賠償請求を行う意志があるか、政府の見解を伺いたい。

大 谷 啓君（民主）

・政府の特定失踪者問題に対する具体的取組状況について伺いたい。

中 島 隆 利君（社民）

・北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律に基づく給付金を含めた支援の在り方に関する拉致被害者との意見交換の内容について、大塚内閣府副大臣に伺いたい。